

# みんゆう 随想

百名山追悼(3・11)登  
山北海道山旅は、魚とウニ  
三昧、辛口の熱燗を思い出  
に利尻島を後にし、一路稚  
内港へ。市内で燃料を満タ  
ンにしました。

47年前の北海道単独一周  
旅行の思い出の場所『日本  
の最北端・宗谷岬』に到着  
し、暫時ドライブ休憩をし  
ました。本州からのツーリ  
ングメンバーが、高価そう  
な自慢のオートバイを止め  
てトイレに行きました。暫し  
二輪車の虜(もよお)になつて眺  
めていると、ハンドルとシ  
ートの間に固定した特製の  
バッグから顔を出している

## 渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング  
代表取締役



超小型犬を発見しました。叩いたが復旧せず、駐車タ  
生き物好きな私にはたまりイムにイライラは絶頂に達  
ません。写真撮っても良いしました。  
かい?」。『ワン!』と答 楽しい山旅も台無し。落  
えたので一枚撮りました。 ち着け、冷静になれ』と気  
好天で水平線からのさわ を取り戻し、パソコンは諦  
やかな潮風。知床の羅臼岳 め、またハンドルを握りま  
へ向け、交通量が少なく信 した。快適に走り、サロマ  
号のない高規格道路、宗谷 湖で小休止、車窓から左に  
俺はアホだなあ』と落胆  
したが回復は早い。『人は  
どこか抜けている方が好感  
がもてる』と自問自答し、

## 山に魅せられて4

国道、オホーツク国道を走 網走刑務所を眺め、知床国  
の大移動が始まりました。 道に入り、明後日予定の斜  
山旅も出発して4日目と 里岳が顔を出しウエルカム  
なり、会社や業務のことが をしてくれました。  
気になってきたので、メー オシンコシンの滝で長旅  
ルを送信しようとしたがネ の疲れを癒やしていると、  
ットに接続できません。手 水平線が黄金に輝き、オホ  
に負えず雅哉君(会社の電 ーツクの海に消える太陽に  
子担当)に電話をし、指示 合掌し追悼しました。  
通りマウスとキーをやたら 『熊に遭遇した時の注意  
ー!』の声。大爆笑でした。

山頂からは知床半島から  
の縦走路。海と山の展望に  
全てを忘れていると、突然、  
国後島に向かい「カニ返せ